

2021年
令和3年
2月号

広報 たっこ



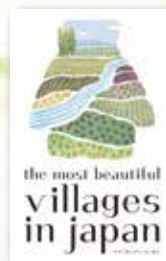
オンラインでギルロイ市と交流

12月17日、田子中学校2年生を対象とした、姉妹都市であるアメリカ・ギルロイ市とのオンライン国際交流会「オンライン・ホーム・ビジット」が行われました。詳しくは裏表紙をご覧ください。

[CONTENTS]

- 今月の話題…………… 2
新年のあいさつ
- トピックス…………… 5
技能五輪全国大会で金賞受賞！
山本博隆さんが瑞宝双光章を受章 ほか
- お知らせ…………… 7

- 公民館情報…………… 10
令和2年度生涯学習町民研修会のお知らせ ほか
- 図書館情報…………… 11
本を読んでみませんか？～心豊かに生涯読書～
- 情報スクランブル…………… 12
学校の話 清水頭小学校 ほか



新年のあいさつ

田子町長 山本晴美



新年明けましておめでと
うございます。

町民の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。皆様にはコロナ対策をはじめ各般にわたり、町政へのご理解、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

令和2年を振り返ってみますと、新型コロナウイルスが猛威を振るい、昨年12月27日現在で、世界の感染者は8千万人、日本では22万人にのぼり、全世界に多大な影響を及ぼし、経済活動の鈍化、医療崩壊への強い懸念を引き起こしております。

このような中、当町では「田子町に持ち込まない、持ち込ませない」「子どもと高齢者を守る」を基本方針に、「不要不急の外出自粛など様々な感染防止策を町民の皆様にお願してきたところであります。現在の対応としては、町民の皆様をまたぐ移動や帰省に
関して「正しく恐れ、正し

く対応する」ことで、町民

活動を支援するよう努めております。町民の皆様には、町の方針へのご理解と充分なご協力をいただき、お陰様で感染が疑われる事例は発生しておりません。心から感謝申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症は、町のイベントや行事を中止したり、規模を縮小して実施するなど、町の経済にも大きな影響を及ぼしました。そのため、「商工業者への支援」、「地域活性化支援」、「大学生等への支援」、「家族のきずな便」、「新たな生活習慣の構築」などを実施し対応してまいりました。更には、感染防護のための備品の充実や、自然災害等の被災時の備蓄品に感染対策を加え、防災・危機管理対応に感染症対策を強く意識した年となったと考えております。

次に、令和3年において、推進してまいりたいと考えている3つの基本政策及び8つの重点施策についてご

説明申し上げます。

●基本政策の1つ目は【新型コロナウイルススへの対応】であります。

本年の新型コロナウイルス感染症に関しては、全国的な感染の推移や国・県の動向を注視しながら、町の方針である「田子町に持ち込まない、持ち込ませない」「子どもと高齢者を守る」という方針を堅持しながら、「正しく恐れ、正しく対応する」ことを町民の皆様とともに実践し感染防止に努めてまいります。また、ワクチンや治療薬の利用が可能となった場合は、適切に対応を進め、一日も早い終息を切望いたします。

●2つ目は【総合戦略・人口ビジョンの展開】であります。

日本の人口減少は、今後加速度的に進行することが予想されており、我が町においても、2060年には1480人に減少すると推計されております。社会経

済に大きな影響を及ぼす人口減少を緩和あるいは克服するため、当町では人口の中長期展望を示した田子町長期人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生田子町総合戦略を策定し、各種事業を展開しております。

昨年3月には、直近の人口動向などを踏まえ長期人口ビジョンを改訂し、新たな将来展望とともに、具体的な対策に係る施策について、数値目標や方向性を記載した実施計画として、第2期まち・ひと・しごと創生田子町総合戦略を策定いたしました。

本年は単年度ごとの数値目標の達成に向けて、実績を評価・検証し、見直しを図りながら各分野の施策に取り組んでまいります。

●3つ目は【田子町型地域共生社会の実現】であります。

青森県が実施している、青森県型地域共生社会の実現を基本として、当町の実情に応じた田子町型地域共

生社会の展開を推進します。

地域共生社会とは、「全ての町民が、住み慣れた地域で生まれ育ち、互いに支え合い、地域で安全・安心に暮らし、老後を迎えることができる社会」であり、重層的な見守りの推進と自分発信による見守りネットワーク体制の強化、町内産業活性化と参画を促し、多様な所得の機会を生み出し、各分野の担い手育成のため地域の方々とともに学び育む環境を整え、一人ひとりが生きがいとやりがいに満ち、笑顔あふれる生活を送ることが出来る仕組みを構築するスタートの年とした

いと考えております。そのためには、あらゆる部門が横断的に連携し、生活環境、産業振興、健康福祉などを、多様な視点から推進しながら、各課と町内の事業者との連携を促し、課題解決に取り組む「田子町型地域共生ケアシステム」を立ち上げ取り組んでまいります。

次に、8つの重点施策を申し上げます。

◆1つ目は【心と体の健康増進】であります。

町民誰もが、元気で充実した毎日が送れることが出来るよう、心と体の両面からの継続した健康づくりを実施していくことが重要であります。

心の健康づくりには、よい良いコミュニケーションと感銘や感動を得ることが重要であります。また、一人で悩まず誰かに相談できるように、保健・医療・福祉・教育・産業など多方面の連携をもって、包括的支援体制を強化し、個別の課題解決に努め自殺予防を推進してまいります。

体の健康づくりでは、国保特定健診の受診率65%越えを目標に掲げ、健診の意義と重要性の理解を促し、自分の体の状態を正しく把握することで健康の見える化を図ってまいります。また、生活習慣の改善と生活習慣病重症化予防への取り組みや、体力及び機能の低下を防ぐ口コモ対策・低栄養対策を推進し、元気に町

民活動を継続するとともに、健康寿命延伸を目指してまいります。

◆2つ目は【産業振興】であります。

産地間の競争が激化する中で、当町では、他産地よりも優位な販売を行い、産地として力強く存続していくために、大学等との共同研究を行ってまいりました。

本年は、更なる連携協定などにより、新たな大学や企業、研究機関などと協力関係を築き、にんにくの他、畜産や野菜、後継者の確保や農業経営に関する方向性、産業のクラスター化など諸課題に対応し、田子町の産業の活性化を図ってまいります。

また、すべての方々が町内産業へ「生きがい」と「やりがい」を持つて参画できる仕組みが重要であり、農業や畜産業、林業などへの参画や生産加工にチャレンジできる仕組みとともに、農地活用、農地保全などを地域で守っていく社会の可能性について調査検討を推進してまいります。

人口減少による課題として、人手不足に対応した中間体の検討・育成を行うこととしております。

一例として、にんにくなどでは、生産から出荷までを家族農業で完結していたところでありますが、労働力不足から一次乾燥や皮むきなどができなくなってきたり、事例が散見されることから、生産から販売につながるべく「中間体」という存在が必要となつてきております。

この中間体はにんにくだけでなく、そのほかの作物や二次・三次産業などでも必要性が高まつてきており、田子町の産業を支え存続させる重要な仕組みとして検討・育成を図ってまいります。

魅力発見型の取り組みを進

めることが大切であると考えます。関係人口、交流人口の増加は、町内のあらゆる産業に活性化をもたらすし、産する町から、産し交流できる町への移行は、町の存続に関して重要な要素であるため、大黒森の体験交流施設をはじめとする町内の交流施設を活用し、民泊農泊につながるイベントや農業体験、企業等の研修や保養、合宿などを選択肢として、町や広域でのイベントと連動した滞在型の観光機能の充実を図ること

増大に努めてまいります。

◆4つ目は【地元学、地域の学】であります。

子どもたちが、地域の大人たちからの様々な分野での指導や交流を通じて、ふるさとを体感し、力強く生き抜く力を獲得することは重要な教育の要素であります。また、大人にとつても子どもたちへの指導・交流を通じて活動が充実され、田子町の良さを再確認できるものと感じます。

郷小学校の石亀神楽、清水頭小学校のナニヤドヤラの習得や、南部信直公・利直公の時代から脈々と受け継がれてきている「田子神楽」の保存・伝承に努めながら、その時代の功績を学ぶ歴史講座、田子城があつた当時の様子を再現する「歴史の窓風景画」作成、盛岡市櫻山神社における「田子神楽奉納」等、過去と現在を結び、歴史と文化を身近に感じられる仕組みを構築し、町民の誇り・精神的バックボーンを育む取り組みなどが挙げられます。これらをはじめ、産業や福祉などの各分野においても可能性を検討し展開してまいります。

◆5つ目は【交通安全・交通死亡事故ゼロ継続】であります。

田子小学校の田子神楽、引き続き、交通事故防止に努

たっこまち地域おこし協力隊☆活動録

田子高校郷土芸能部 感謝公演

地域おこし協力隊の五十嵐です。皆様、新年明けましておめでとうございます。今年の5月からいよいよ任期最後の1年になります。様々な活動を今年も行っていく予定ですので、変わらず皆様のサポートをお願いいたします。

さて、昨年12月に田子高校郷土芸能部の感謝公演を観に行ってきました。来年度で閉校が決まっている田子高校。郷土芸能部の最後の公演になるかもということを楽しみにしておりました。初めて観る田子神楽は伝統的なリズムの中に力強い動きが入り、伝統芸能の知識も経験もない自分でもすばらしい神楽だと感じていました。また何よりすばらしかったのは、生徒さんの最後のあいさつ。「すべての高校が伝統芸能を部活動として活動できるわけではない。このような活動を行うことができたことを誇りに思います」という言葉。田子町には本当にすばらしい子どもたちが育っていると感じました。

コロナ禍で様々な活動が自粛、中止。子どもなんだからもつとわがままになっても良いと思っていた中での、こんな謙虚で想いのあふれる言葉。花束をもらうべき彼らが、お世話になった皆さんに花束を渡している姿もまたすばらしかったです。田子高校の皆様、すばらしい公演をありがとうございました！



交通死亡事故ゼロ

3690日を目指しています！

2月も雪道や凍結した道路でのスリップ事故が多いとされています。ドライバーおよび歩行者も急な降雪に備えるなどして交通事故の危険性を減らしましょう。



めながら、交通死亡事故ゼロ、3690（みろく）日に向けて普及啓蒙を行っています。

◆6つ目は「防災・危機管理体制の強化」であります。

近年、台風等による大雨が相次ぎ、当町においても土砂災害警戒情報が発表されるなど、いつ大きな災害が起きてもおもて思議ではない状況となっております。また、発生した場合、広域化・激甚化が懸念される状況であり、地震や風水害などの自然災害から、生命と財産を守り、互いに助け合い、被害を最小限に留める

ため、町内全ての自治会での自主防災組織結成を目指すとともに、研修会や各訓練等を通じ更なる地域防災力の向上に取り組んでまいります。

また、昨年は、自然災害等の避難所運営における、新型コロナウイルス感染症防護のための備蓄品等も整備し、防災・危機管理対応においても、感染症対策を強く意識しました。今後、感染対策も含めた避難所運営訓練を町民とともに進行するなど、防災・危機管理体制の更なる強化を図ってまいります。

◆7つ目は「広域連携の推進」であります。

広域連携の推進については、町の各種事務事業を主体としながらも、八戸都市圏スクラム8の各種事業を活用して、広域的課題解決や当町の事業推進に努めてまいります。

また、岩手・秋田・青森県境での交流と連携推進については、環十和田湖ゲートウェイ構想や近隣市町村の振興計画との整合性を図り、観光、文化、産業など各分野での関係人口、交流人口の増大をもって、地域の活性化に取り組んでまい

ります。

◆8つ目は「世紀越えトンネルの実現について」であります。

夏坂と大湯を結ぶ仮称世紀越えトンネルの事業化の促進について、本年は、議会や関係市町村と協力しながら、事業実施の具現化・加速化に向けて、国・県に對する要望活動に継続して取り組んでまいります。なお、青森県側のトンネル坑口までの未整備区間について路線調査を行い、実現に向けた資料を整備してまいります。

以上、主なものについてご紹介いたしました。

本年は、第6次総合計画の折り返しとなる、後期5カ年計画の一年目となります。

「ひとが輝きまちが輝く活力と笑顔あふれる町」の実現に向け取り組んでまいりますので、町民の皆様により一層のご理解とご参画をお願い申し上げます。ともに、町民皆様の「健康で幸多い年」となりますようご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

街路灯で町を明るく

(※写真1)

12月4日、東北電力ネットワーク株式会社八戸電力センターの間所顯宣所長と、施工を行った株式会社ユアテック八戸営業所の今彰夫所長が役場を訪れ、街路灯寄贈式が行われました。

山本晴美町長は「街路灯があるおかげで、夜も安心して歩くことができます。大切にに使わせていただきます」とあいさつしました。今回寄贈されたのはLED防犯灯10基で、すでに取り付けは完了し、自治会の集会所や町営住宅への通路に設置されています。

佐野ミワさん 祝103歳！敬老祝い金贈呈式

(※写真2)

12月4日、佐野ミワさん(舞手)の満103歳を祝い、佐野さんの自宅で敬老祝い金贈呈式が行われました。佐野さんは大正6年11月

生まれ。三戸町のデイサービスセンターに通っており、塗り絵をするのが楽しみとのこと。最近ご自身が取り組まれた作品や、施設での様子も教えてくださいました。週1回のお休みの日は、ご自宅でテレビを見て過ごされています。ご家族によると、普段の食事は好き嫌いなく何でも食べ、中でも焼き鳥が好物とのこと。田子町の100歳以上の方は佐野さんを含め5名となっています。

田子幼稚園生活発表会

(※写真3)

12月12日、田子幼稚園で令和2年度生活発表会が行われ、練習した遊戯や体育あそび、歌などを来場した保護者に披露しました。

宇宙組の遊戯「ひらひらまいおうぎ」では、華やかな着物に身を包み、おしとやかに舞っていました。オペレッタ「森へ行こう」で

は、園児たちがうさぎやたぬきなどの森の動物や妖精に扮し、かわいらしい歌とダンスで演じました。

全演目が終了すると、会場からはアンコールが寄せられ、園児はよさこいを元氣いっぱい踊っていました。また、教室には園児が制作した絵や作品が展示され、保護者は園児の成長を感じられる1日となりました。

日沢建設所属の多田さんが技能五輪全国大会で金賞受賞!

(※写真4)

国内の青年技能者(23歳以下)が参加し、11月13日から愛知県で開催された「第58回技能五輪全国大会」の建築大工部門で、有限会社日沢建設所属の多田知弘さん(遠野市出身)が金賞を受賞したことを受け、12月16日、役場公室で報告会が行われました。

多田さんは、岩手県立二戸高等技術専門校建築科を修了後、技能五輪全国大会



(写真1)東北電力八戸電力センターの間所所長(右)とユアテック八戸営業所の今所長(左)



(写真2)花束を受け取る佐野さん



(写真3)オペレッタ「森へ行こう」

☆子育てサロン☆
『ちょこっとクリスマス』
開催しました

田子町社会福祉協議会
☎32-4045



12月21日、田子町社会福祉協議会子育てサロンでは『ちょこっとクリスマス』を開催しました。コロナ感染予防対策として外での開催となりましたが、数組の親子が遊びに来てくれました！

木に飾ってあるお菓子入りオーナメントを取ったり、ボールプールに隠された風船を探し出したりといったミッションを楽しみました。同時に、イルミネーションが気になったり、車が通るたびにそっちも気になったり…好奇心旺盛でいろいろなものに興味津々☆ この日はお天気に恵まれ、青空の下でたくさん遊びました。また、玄関には写真ブースを設置しツリーと一緒にパチリ。楽しい交流の場となりました。



帰りは子育てサロンよりささやかながらクリスマスプレゼントも。

来てくれたみなさんありがとうございました！また遊びに来てね！！

問 すすく館 ☎32-3115 (担当：中平)

みんなで食べよう！
超かんたん、野菜料理

キャベツの
ペペロンチーノ風

(材料)

- キャベツ 100g
- しらす干し 大さじ1 (10g)
- おろしにんにく 小さじ1/3
- a 一味唐辛子 少々
- 塩・胡椒 少々
- オリーブオイル 小さじ1

一味唐辛子の代わりに輪切りにした赤唐辛子を使うと大人の味を楽しめます。

(作り方)

- ①キャベツはざく切りにして耐熱容器に入れる。aは混ぜておく。
- ②耐熱容器にふんわりとラップをし、電子レンジ(600w)で2分ほど加熱する。
- ③②とaを和えたらできあがり。

★キャベツのビタミンU「キャベジン」には胃の健康を守る働きがあります。

★キャベツの食感が残るくらいに加熱すると、水分が出ずにおいしく仕上がります。

(地域包括支援課栄養士 岡崎)



への出場を視野に二戸職業訓練協会の会員事業所である日沢建設へ就職し、日々の業務で経験を積みながら、週1回の訓練に取り組んできました。

また、今回の受賞により参加資格を得た「技能五輪国際大会」(中国・上海で開催予定)に向けて、「本番まで努力を続け、金賞を目指したいです」と抱負を語っていました。

山本博隆さんが瑞宝双光章を受章 (※写真5)

12月16日、役場公室で山本博隆さん(上野)に山本町長から瑞宝双光章が伝達されました。

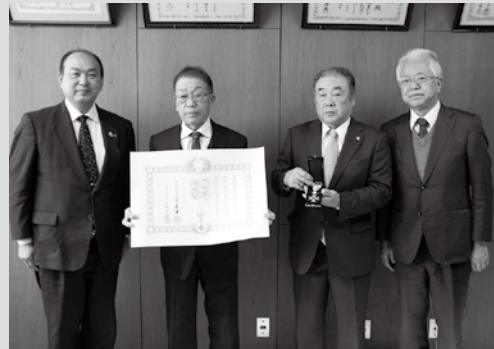
山本さんは、田子町消防団員として昭和47年2月の入団以来、41年余りの永きにわたり積極的に職務にあたり、平成22年からは約3年間消防団長も務め、優れ

た指導力を十分に発揮するなど、田子町消防団の発展に大きく貢献されたことが認められ、今回の受章となりました。

受章した山本さんは「自分ひとりの力で受章したものではないと思っています。今後、少しでも町の力になれたら」と笑顔で話していました。



(写真4) 受賞した多田さん(中央)と日沢建設の日沢良雄代表取締役(右)



(写真5) 受賞した山本さん(左から2人目)

令和3年 所得申告相談受付のお知らせ（印鑑、通帳が必要です）

★★★ 今年もマイナンバーが必要です。★★★

通知カード（番号付住民票）＋身分証明書（運転免許証、パスポート等）もしくはマイナンバーカードをご持参ください。

午前受付 **8時45分～11時** 午後受付 **1時～4時**

会場	月日	曜日	対象行政区	
			午前	午後
上郷公民館 研修室	2月12日	金	関	夏坂
	2月15日	月	道前・嘉沢	山口
	2月16日	火	遠瀬・水亦	新田
	2月17日	水	石亀・杉本	茂市
	2月18日	木	道地	【上郷地区全域】
中央公民館 研修室	2月22日	月	明土平・上相米	根渡・柴倉
	2月24日	水	上風張・風張 南風張	宮野・細野
	2月25日	木	雀ヶ平	野面・極ノ実
	2月26日	金	飯豊	原
	3月1日	月	川向・川代 椀山・袖平	清水頭・干草場
	3月2日	火	上野	長坂
	3月3日	水	西館野	
	3月4日	木	矢田郎	野月
	3月5日	金	野々上	池振・野畦沢
	3月8日	月	下田子・舞手	向山・衣更
	3月9日	火	七日市	種子
	3月10日	水	下本町・塚ノ上ミ	サンモール
	3月11日	木	北側・南側	中本町
	3月12日	金	【田子町内全域】	
	3月15日	月		

▼農業・営業申告をされる方へ

事業に係わる販売額や経費などの申告の場合は、1年間の合計額を書いた「**収支内訳書**」または帳簿を提出していただきます。

ただし、農産物・葉たばこ・肉用牛・農機具の「**販売証明書**」は確認しますので、ご持参ください。

▼給与・年金所得のある方へ

所得税の申告をする場合は、源泉徴収票の原本が必要です。

なくされた時は、早めに支払者から**再発行**を受けてください。

▼寡婦（寡夫）の方へ

配偶者と死別または離婚した場合、寡婦控除等の対象となる場合がありますので、申告時には自ら申し出て確認を受けてください。

▼ふるさと納税をした方へ

ワンストップ特例制度をご利用しない方または6箇所以上の自治体に寄附なされた方は「**寄附金受領証明書**」をご持参ください。

▼その他（該当する場合）

身体障害者手帳
国民年金納付領収書
各種保険料控除証明書
おむつ使用証明書 など

医療費控除の対象となる領収書は全て確認しますので、ご持参ください。申告前に、人ごと・病院ごとの合計額を書いていただきます。

※日程はデータ放送でも確認できます。

問 役場税務課税務グループ（加藤・袖村） ☎20-7112

「障害者控除対象認定書」についてのお知らせ

介護認定を受けている65歳以上の方で、身体の障害または認知症の状態が認定基準に該当している場合は、障害者手帳等を持っていなくても「**障害者控除**」や「**特別障害者控除**」を受けることができます。

（対象者は、所得税や住民税の申告時に、その本人及び認定を受けた人を扶養している方です）

◎田子町の方が、町内の公民館で申告する場合は、認定書を準備する必要はありませんが、申告時には自ら申し出てください。（申し出がないと控除できません）

◎税務署や他の市町村で申告する場合は、事前に認定書の交付を受けなければなりません。また、手続きの際、介護保険被保険者証や印鑑を使用しますので、電話でお問い合わせください。

問 役場地域包括支援課（せせらぎの郷）（澤口） ☎20-7100

■ 後期高齢者医療被保険者のみなさまへ

◎交通事故等にあったとき

交通事故や暴力等、第三者（自分以外の人）の行為によって負傷し、被保険者証を使って治療を受けたときは、必ずお住まいの市町村へ届出をしてください。また、自損事故や、業務中の事故で労災が適用されない場合も届出が必要です。

◎医療費通知について

国の税制改正により、平成30年1月1日から医療費通知を確定申告に活用できるようになりました。広域連合からお送りする医療費通知には自己負担相当分を記載していますので、確定申告時の医療費控除にもご活用いただけます。

なお、対象となる期間が令和2年1月診療分から令和2年12月診療分となることから、通知書がお手元に届くのは令和3年2月末頃となりますので、ご理解をお願いします。

問 青森県後期高齢者医療広域連合

☎017-721-3821

問 役場住民課福祉給付グループ（田中） ☎20-7119



■ 申告はお早めに

●所得税・住民税

今年の所得税・住民税の申告期限は3月15日（月）です。例年、期限の間際になりますと申告会場が混み合い、お待ちいただく時間も長くなりますので、お早めに申告くださるようお願いいたします。

●消費税・地方消費税

県の税金である地方消費税は、国の消費税と同じ申告書と一緒に税務署に申告し、消費税との合計額を国に納めます。納められた地方消費税は、国から県に払い込まれます。

今年の個人事業者の消費税・地方消費税の確定申告と納税の期限は、3月31日（水）です。忘れずに申告、納税して下さるようお願いいたします。

問 三八地域県民局県税部課税第一課

☎0178-27-5111 内線210



■ 道路インフラの実態が見える化します！ 『青森の道路メンテナンス概要』を公表

青森県道路メンテナンス会議（※）では、県民・道路利用者の皆様に道路インフラの現状及び老朽化対策についてご理解をいただくため、「青森の道路メンテナンス概要」として点検の実施状況や結果などをとりまとめましたのでお知らせします。

※青森県道路メンテナンス会議は、道路インフラの予防保全・老朽化対策の体制強化を図るため、県内の道路管理者が連携し、2014年度に設立しています。



▼とりまとめ内容

（県内の国道・県道・市町村道・高速道路）

- 2019年度（単年度）における点検結果
- 2019年度末時点における判定区分の割合
- 2019年度点検実施施設における判定区分の遷移状況

▼とりまとめポイント

- 点検実施率は、橋梁19%（1311橋）、トンネル13%（7箇所）
- 橋梁の判定区分の割合は、Ⅲ：10%（133橋）、Ⅳ：0%（0箇所）

【判定区分Ⅲ・Ⅳ：次回点検までに措置を講ずべき施設】

詳しくは、**青森 道路メンテ** で検索

問 青森県道路メンテナンス事務局

☎017-734-4575

■ 商品券の収入などは申告対象となります

町では、新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済対策として、全町民を対象に商品券を配布いたしました。

5月には「地域応援商品券」として、9月には「地域活性化商品券」として配布した商品券についてですが、**世帯員全員分が世帯主の一時所得となりますので、確定申告の収入額に含めてください。**

なお、金額を証明する書類が必要な場合は、役場住民課にお問い合わせください。

地域活性化商品券の使用期限は令和3年2月末となりますので、まだ使用していない場合はお早めにご利用ください。



問 役場住民課福祉給付グループ（田中） ☎20-7119

■ 「解決の糸口を見つけに行こう！」相談会

町と連携して生活再建相談事業を行っている消費者信用生活協同組合による無料相談会です。専門スタッフや弁護士がお金や暮らしに関する悩みなどについて、丁寧に聴き取りし、一緒に解決の糸口を見つけます。

▼実施日時 2月27日（土）

▼場所 信用生協八戸事務所

（八戸市大字八日町36 第一ビルディング4階）

- ▼対象の相談
- ①お金の相談（多重債務問題など）
 - ②遺産相続
 - ③不動産売買
 - ④税金等公共料金の滞納
 - ⑤DV・離婚問題
 - ⑥その他暮らしに関する悩み事

▼相談料 無料 ただし事前の予約が必要です。

▼予約先 信用生協八戸事務所

☎0120-102-084



■ 三戸警察署から運転免許証更新についてのお知らせ

令和3年4月から三戸警察署では、高齢者講習を受けた方みの更新受付となります。運転免許証の更新をされる方は、近隣の受付場所をご利用ください。

▼近隣の受付場所

受付場所	受付曜日
青森県運転免許センター	月～金曜日・日曜日
八戸自動車運転免許試験場	月～木曜日・第1、3、5 金曜日・第2、第4日曜日
十和田警察署	月～金曜日

※更新時講習実施日は別途ご確認ください。

※土曜日、祝日、年末年始は閉庁日となります。

▼今までどおり行う主な事務

▽高齢者講習を受けた方への更新受付 ▽運転免許証の再交付申請 ▽国外運転免許証の交付申請 ▽運転免許証の記載事項変更 ▽運転免許証の自主返納 ▽運転経歴証明書の交付申請

問 三戸警察署 ☎ 22-1135



■ 2月は「サイバーセキュリティ月間」です

毎年2月は政府の定める「サイバーセキュリティ月間」です。

情報漏えいや個人情報の流出など、生活や企業活動に影響を及ぼす問題の発生を防ぐため、県民の皆さん一人ひとりがサイバーセキュリティについての関心を持ち、これらの問題に対応していきましょう。

▼気をつけること

◎アプリのインストール判断は慎重に行いましょう。

電話帳、メール、ショートメール等の権限を必要以上に要求するアプリは不審です。

◎SNSへの投稿は慎重に！

動画や書き込み内容から個人が特定される可能性があります。

◎フィッシングによるID・パスワードの抜き取りが相次いでいます。

偽サイトに誘導されないよう、記載されたURLを容易にタップしないでください。

問 三戸警察署田子警察官駐在所 ☎ 32-3109



●広報たっこでは、皆様からの情報提供をお待ちしています。紙面に掲載可能な行事などありましたら、下記までご連絡ください。 役場政策推進課 ☎ 20-7127

■ 新三戸地区葬祭場使用料について

令和3年4月1日から三戸地区葬祭場の使用料を下記のとおりに改正します。

本改正は、葬祭場を利用する方から新たに施設使用料を負担いただくものであります。利用者の皆様のご理解をお願いします。

区分	単位	金額		
		組織町内 居住者	組織町外 居住者	
火葬炉使用料	12歳以上	体	無料	33,000円
	12歳未満	体	無料	24,000円
	死産児	胎	無料	20,000円
	身体の一部	1人分	無料	7,000円
	改葬	体	無料	20,000円
施設使用料 (火葬炉を除く)		1回	2,000円	4,000円

問 三戸地区葬祭場 ☎ 23-4630

■ 知っておきたい 年金のはなし 20歳になったら国民年金



◎加入する人は？

日本に住む20歳以上60歳未満のすべての方に国民年金への加入が法律で義務づけられています。

◎保険料はいくら？

国民年金第1号被保険者および任意加入被保険者の1カ月当たりの保険料は、16,540円です。(令和2年度)

◎加入のご案内

令和元年10月以降、20歳になった方*には、日本年金機構から、国民年金に第1号被保険者として加入したことをお知らせする通知が届きます。

*厚生年金に加入している方は除きます。また、第3号被保険者に該当する場合は、配偶者の勤務先を経由しての届出が必要です。

●第1号被保険者 20歳以上60歳未満の農業者・自営業者・学生・無職の人など

●第2号被保険者 会社員・公務員など

●第3号被保険者 性別を問わず、第2号被保険者に扶養されている20歳以上60歳未満の配偶者(年収130万円未満)

※保険料の納付方法には、金融機関やコンビニの窓口払いの他、便利な口座振替やクレジットカード払いなどがあります。また納付が困難な場合は、免除や猶予制度等がありますので、詳しくは下記にお問い合わせください。

問 八戸年金事務所 ☎ 0178-44-1742

問 役場住民課福祉給付グループ(田中) ☎ 20-7119

■行事等に関するお問い合わせは、田子町中央公民館 (☎20-7070 担当：小林)
または上郷公民館 (☎33-1811) までお願いします。

令和2年度生涯学習町民研修会のお知らせ

- ▼日時 2月21日(日) 午後1時30分～3時
(開場 午後1時～)
 - ▼会場 中央公民館ホール
 - ▼演題 城づくりから見える南部氏の生き方について
 - ▼講師 ごのへ郷土館館長 木村明彦氏
三戸町教育委員会班長 野田尚志氏
南部町教育委員会総括主査 布施和洋氏
- ※定員80名(先着順)となります。事前の申し込みが必要です。詳細は後日配布されるチラシをご覧ください。

第47回新春書き初め大会

おめでとう！町長賞 大野萌愛さん

1月7日、中央公民館で第47回新春書き初め大会が開催され、今年は幼児から中学生まで30名の参加がありました。参加者は講師の米田巧先生よりそれぞれの課題の手本を書いていただき、書き方の指導を受けて、筆を運んでいました。

結果は次のとおりです。

▼町長賞

大野萌愛 (田子中2、右写真)

▼文化協会長賞

千葉堇 (清水頭小4)

▼公民館長賞

つちかわひまり (田子幼)

▼審査員特別賞

せきむかいさな (田子幼)

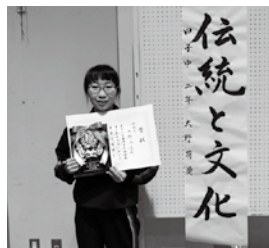
▼金賞

高沢優月 (田子小1)・山本奏汰 (田子小2)

大野怜愛 (田子小3)・高橋祐月 (田子小5)

高橋彩乃 (田子小6)

※参加者の全作品は1月いっぱい中央公民館に展示してありますので、ぜひご覧ください。



ストライキングエクササイズ

冬場の体力づくり、健康づくりを目的に「ストライキングエクササイズ」を新型コロナウイルス感染症対策実施のうえ開催いたします。



キックボクシングの動きを取り入れたエクササイズで体を動かすことにより、運動不足解消とダイエット、ストレス発散など、冬場のお悩み解消につながります。各クラスともに親子での参加もできますので、お気軽に参加ください。

詳しくは全戸配布されるチラシをご覧ください。



みんなでチャレンジ 公民館講座のお知らせ

●ストライキングエクササイズ キッズクラス

▽とき 2月25日(木) 午後6時30分～7時30分

▽ところ 中央公民館ホール

▽対象 子ども ※保護者の参加可

▽持ち物 汗ふき用タオル・ドリンク

●いけばな講座

▽とき 2月20日(土) 午後6時30分～8時30分

▽ところ 中央公民館研修室

▽参加費 花材料代1,000円前後

●フラワーアレンジメント教室

2月はお休みです

※日程や内容に変更が生じることもあります。講座情報はその都度、T C Vやチラシ等でお知らせします。

新型コロナウイルス感染防止対策により、各施設利用者にはその都度確認をを求める事項がありますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いします。

図書館情報

本を読んでみませんか？～心豊かに生涯読書～

●「心豊かに生涯読書」特集

「テレビで紹介していた本がおもしろそう」「ラジオで聞いた本の題名がよく聞き取れなかった」そんな時はお気軽に図書館におたずねください。図書館では読みたい本を探すお手伝いをします。

2月は「年齢を重ねたからこそ楽し

める本」を集めて展示・貸出します。

- 老人初心者の覚悟／阿川佐和子
- やばい老人になろう／さだまさし
- 老～い、どん！／樋口恵子
- 老人の美学／筒井康隆
- キヨミさんのシニア庭あそびアイデア

●第61回「読書マラソン」終了

小学生以下の子どもたちが挑戦した「読書マラソン」（期間中に何冊の本を借りて読むことができるか自分の記録に挑戦する）が終了しました。今回の参加者は26名。入賞者は19名でした。1等賞（7日間で40冊読破）から努力賞は次のみなさんです。おめでとうございます。

- ▼1等賞 大野怜愛、土川陽葵、土川響羽、千葉董、高沢優月、高沢妃希、関本俊也、宮木詩渚、澤頭新太
- ▼2等賞 元村ゆづき、元村しづく、佐藤善、佐藤颯祐、佐藤和、久保ひとと、久保あかり
- ▼3等賞 千葉陽向
- ▼努力賞 久保ちあき、大久保絵実



本を読んでスタンプ押します



除菌ボックス

図書館おやすみカレンダー

2021							2月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6						
7	8	9	10	11	12	13							
14	15	16	17	18	19	20							
21	22	23	24	25	26	27							
28													

▼色の濃い日が休館日です。

田子町立図書館(担当: 川村)
☎20-7221

2月の図書館行事

▼2/17(水) 午前10時
セカンドブック／せせらぎの郷

図書館の開館時間

水～土 午前10時～午後6時
日曜日 午前10時～午後4時

図書館休館日

毎週月曜日・火曜日・祝日・第4木曜日
(館内整理日)

新刊案内

●政治

▽喧嘩の流儀／菅義偉、知られざる履歴書／312ヶ

●行事、建築、料理

▽日本の行事と四季のしつらい／386ヒ
▽小屋を作る本2021／527コ
▽雑煮365日／596マ

●言語

▽イギリスの小学校教科書で始める親子で英語絵本リーディング／830フ

●歴史・時代小説

▽夢幻／上田秀人／913ウ
▽乱麻／百万石の留守居役16／上田秀人／913ウ
▽隅田川御用日記／雁もどる／藤原緋沙子／913フ
▽しのぶ恋／諸田玲子／913モ
▽天下一の粥／料理人季蔵捕物控40／和田はつ子／913ワ

●ミステリー

▽法廷遊戯／五十嵐律人／913イ
▽悪魔を殺した男／神永学／913カ
▽復讐の協奏曲(コンチェルト)／中山七里／913ナ
▽愛の伊予灘ものがたり／西村京太郎／913ニ
▽ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人／東野圭吾／913ヒ

●そのほかの小説など

▽ひとり旅日和2／秋川滝美／913ア
▽今度生まれたら／内館牧子／913ウ
▽今夜／小野寺史直／913オ
▽銀の夜／角田光代／913カ
▽オルタネート／加藤シゲアキ／913カ
▽ライト・スタッフ／山口恵以子／913ヤ

●エッセイ、詩歌、手記など

▽しあわせな老いを迎える心理学／143ウ
▽内澤旬子の島へんろの記／186ウ
▽わたしの好きな季節／川上弘美／911カ
▽死ぬまでに行きたい海／岸本佐知子／914キ
▽ふつうでない時をふつうに生きる／岸本葉子／914キ
▽ガラスの50代／酒井順子／914サ

■警察署コーナー

☆除排雪中の事故を防止しよう

除排雪中の事故を防止するため、次のことに気をつけましょう。

○屋根の雪下ろしは「命綱をつける」、「滑り止めのついた靴を履く」などして、転落防止に十分注意しましょう。また、転落時に備え、屋根の下には雪を残して作業をしましょう。

○はしごの上り下りは、はしごを確実に固定し、転落事故防止に十分注意しましょう。

■消防署コーナー

☆冬期間の注意とお願い

寒さが厳しく、暖房器具を使用するこの時季、火災や、不慮の事故を防ぐため次の点に注意しましょう。

○石油ストーブに灯油を給油する際は「油種を確認し」、「必ず消火」してから行う。

○出かける際は「火の元を点検」する。

○石油ストーブを長時間使用する際は、時々「換気」して、部屋の空気を入れ換える。

○落雪による



○除雪作業は、家族や近所の人にも声をかけて、できるだけ複数で行いましょう。

○軒下からの屋根の雪落としは、雪の下敷きにならないよう十分注意しましょう。

○晴れの日は屋根の雪がゆるんでいるので、特に注意しましょう。

○除雪機の点検は、必ずエンジン进行を停止してから行いましょう。

▼三戸警察署
田子警察官駐在所
☎32-3109

煙突の破損や、FF式ストーブは排気筒の埋もれなどがないか「点検」する。

○積雪が多い場合は、玄関など出入口の周囲を除雪し、「避難経路を確保」する。

○路面が「凍結し」、滑りやすくなっている「ので」、転倒しないように注意する。

○屋根から雪やつららが落ちてくるので、「軒下には近づかない」ようにする。

○除雪した雪は、「消火栓防 waters 槽」付近に捨てないようお願いいたします。

▼三戸消防署 田子分署
☎32-3104



2月の主な保健・介護予防事業予定表

2 (火) 生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00~午後2:30	18 (木) 「くらし」と「しごと」田子町無料相談会 (せせらぎの郷) 午後1:00~4:00
3 (水) 乳児健診 (せせらぎの郷) 午前10:00~	19 (金) 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00~午後2:30
4 (木) あとから体がらくーになる運動教室 (中央公民館) 午後2:00~3:00	22 (月) あとから体がらくーになる運動教室 (中央公民館) 午後2:00~3:00
5 (金) 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00~午後2:30	24 (水) 予防接種 (せせらぎの郷) 午前10:30~正午
9 (火) 生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00~午後2:30	26 (金) 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00~午後2:30
10 (水) 予防接種 (せせらぎの郷) 午前10:30~正午	ことばの教室 (田子保育園) 午前9:00~正午
12 (金) 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00~午後2:30	認知症予防教室 (せせらぎの郷) 午後1:30~3:30
16 (火) 生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00~午後2:30	
17 (水) こども健診 (せせらぎの郷) 午前9:30~	
	子宮頸がん予防接種 (中1) (せせらぎの郷) 午後3:30~4:30

健康・介護に関するご相談は
せせらぎの郷へ
☎20-7100

町の人口

令和2年12月31日現在

世帯数/2141 (+1)
人口/5282 (-8)
男/2565 (-6)
女/2717 (-2)
() 内は前月比です

誕生

- 市村 啓 (剛・勝子) / 塚ノ上ミ
 - 原 結莉奈 (充正・桃子) / 道地
- ※ () 内はご両親、"/" のあとは行政区です

結婚

- 佐藤秀樹 (種子) 飯豊幸恵 (飯豊)
- 小原利久 (宮城県) 高館友理子 (茂市)
- 稲村知己 (下本町) 古田道子 (北側)

お悔やみ

- 佐野廣治 (85歳) 野々上
 - 三田敵護 (86歳) 飯豊
 - 老久保恵子 (83歳) 南側
 - 山市由則 (73歳) 清水頭
 - 佐羽内長一郎 (81歳) 夏坂
- 個人情報保護のため掲載を省略しています
※ () 内は享年、() のあとは行政区です

TCV(田子町ケーブルテレビジョン) からのお知らせ

- ◎サポートセンター (月曜~金曜 午前9時~午後5時)
☎0120-557-759 (祝日を除く)
加入の申込・変更・廃止、ケーブルの移設などの際にご連絡ください。
- ◎故障受付 (24時間) ☎0120-262-750
テレビが映らない、などの故障時にご連絡ください。



学校の話 清水頭小学校

●我慢の1学期と 実り多き2学期

3月の臨時休校を乗り越え、4月7日には待望の入学式。新たな希望を胸に1年のスタートを切ることができました。

学習発表会は、地域の方をご招待することが可能となり、児童が招待状を作成し、地域の方にお渡ししました。当然児童の練習にも熱が入ります。



いよいよ当日。児童は、練習の成果を全力で発揮しました。そして、演目後にいただいた大きな拍手は、児童に達成感と満足感を与えてくれました。

素晴らしいスタートとは裏腹に、1学期は教育活動を思うように展開できず我慢を強いられました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、児童と外部の接触を避ける必要が生じ、本校の伝統・特色である地域の方と共に行う活動ができませんでした。



新型コロナウイルス感染症の影響により、当たり前に行っていたことを行うことが難しくなっています。地域の方に学校においていただけていることが、どれだけありがたいことか改めて実感し、地域と共に進む学校の素晴らしさを再認識いたしました。

1学期に予定していた地域ぐるみ大運動会は9月に延期、山づくり環境整備作業は児童・保護者のみで縮小して実施という対応を取らざるを得ませんでした。

2学期には、9月に運動会、10月に修学旅行、11月に学習発表会を実施することができました。

3学期も子どもたちが成長できるよう全力で教育活動に取り組んでいきたいと思えます。ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

(原稿・画像提供 清水頭小学校)

書道

第47回新春書き初め大会入賞作品



◎町長賞 大野萌愛 (田子中2)



◎文化協会長賞 千葉萌 (清水頭小4)



◎公民館長賞 つちかわひまり (田子幼)

編集後記

明けましておめでとうございます。今年も広報たっこをよろしく願っています。

さて、今回は田子中学校の「オンライン・ホーム・ビジット」を取材しました。最初は緊張しながら画面に向かって自己紹介していた生徒も、少しずつホストファミリーと打ち解け、笑顔で話していました。交流会の日はクリスマスが近かったこともあり、ホストファミリーの家のイルミネーションに「かわいい」「きれい」の声も多く聞きました。最後にはそれぞれの国の言葉で「赤鼻のトナカイ」を歌い、生徒たちにとっては「生きた英語」に触れる、よい機会となったようです。

(広報担当 まつやま)



「日本で最も美しい村」連合 vol.12 (令和3年2月号)

今回は、「田子町美しいまちづくり推進計画」の基本目標3の施策3と4のアクションプランをご紹介します。

基本目標3 緑豊かな自然を大切に、心あたたまる美しいふるさとを次世代に引き継ぐ

施策3 田子町の自然の恵みを有効活用します。

アクションプラン 26 自然観光の推進

田子町の自然を活用した観光を推進する

自然を活用した観光を推進するため、農泊の推進等の自然とふれあいができる環境を整備します。

アクションプラン 27 自然イベントの開催

田子町の自然資源を活用したイベントを開催する

大黒森つつじまつり等の自然とふれあいができるイベントを開催します。



施策4 ごみの適正処理と資源物の有効活用を進め、ごみの減量に取り組みます。

アクションプラン 28 ポイ捨て・不法投棄の撲滅

ごみのポイ捨てや不法投棄をさせない

ポイ捨て・不法投棄をさせないようにするため、環境美化推進員との連携・普及啓発活動を行います。

アクションプラン 29 ごみの減量と3Rの推進

ごみの分別の徹底や資源物のリサイクルの推進等ごみの量を減らす

ごみの分け方・出し方の普及啓発を図り、ごみの分別の徹底と資源物リサイクル化等を推進し、ごみの減量対策を行います。



気分はホームステイ!? ~ギルロイ市とのオンライン国際交流~



英語での質問にも挑戦

12月17日、田子中学校2年生を対象に、アメリカ・ギルロイ市の家庭とのオンライン国際交流会「オンライン・ホーム・ビジット」が行われました。これ

は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、今年度の「中学生海外派遣事業」が中止となったため、日本とアメリカの文化の違いを学ぶことを目的に、インターネットを活用した「ビデオ通話によるお宅訪問」のスタイルで開催されました。

交流会は、4~5人の班に分かれ、班ごとにギルロイ市のホストファミリー宅を訪問し、互いに英語で自己紹介をした後、ホストファミリーが家の中をオンラインで案内してくれました。今回は「アメリカのキッチンと食べ物」をテーマに、冷蔵庫の中の食材や、焼きたての色鮮やかなクッキー

を見せてもらったり、好きな食べ物について英語で質問するなど時間の許す限り交流会を楽しみました。中でも、約4リットルの特大サイズの牛乳や冷凍ターキー（七面鳥）に生徒たちからは驚きの声が上がりました。

参加した生徒は、「コロナウイルス感染症の流行で海外研修ができない中、こういう機会があったうれしい」「アメリカのキッチンは日本と比べて大きくて驚いた」と話していました。



交流会の様子